



高士雪窓図



双蟹



漁村秋晴図

●直原玉青生誕120年 新館蔵品展—巡縁—(1階展示室)

「句画禅一如」を永遠のテーマに掲げて南画一筋の画道を邁進し、独自の芸術を確立した直原玉青(1904~2005年)は、今年で生誕120年を迎えます。玉青が晩年に詠んだ俳句に「善縁に生かされ白寿賜りぬ」とあり、自分は交流を持った多くの人たちによって生かされてきたと語っています。今回は人と人の縁を大切にしてきた玉青のコレクションの中から、2018年以降に縁が巡って新たに館蔵された作品を「新館蔵品展—巡縁—」と題してお披露目いたします。また、在りし日の玉青の姿を回顧していただければと、四季折々の風景の中に自身の姿を描き入れた作品も展示いたします。

●新館蔵品展—森本栖鳳書遺作展—(2階展示室)



令和5年4月に逝去された南あわじ市湊出身の書家、森本栖鳳(本名、森本敏夫 1933~2023年)の新館蔵品をお披露目いたします。森本栖鳳は若き頃より「筆に才あり」と称えられ、日展入選をはじめとした数々の賞を受賞。正筆会副会長、兵庫県書作家協会参事などの役員を歴任されました。

●石器から見た弥生時代の淡路島(2階展示室)

人が作った最古の道具である石器。淡路島の遺跡から出土したいろいろな用途や材質の石器から、弥生時代の淡路島と他地域との関係を探ります。

【協力】淡路市教育委員会 洲本市教育委員会
兵庫県立考古博物館



【関連イベント】ワークショップ(事前予約制、電話・メールより受付)

- ◆ミニチュア鑄造体験 4月21日(日)・5月3日(金)・6月16日(日)
各回時間 ①10時 ②11時 ③13時 ④14時 ⑤15時
材料費/400円・800円 所要時間/60分
金属を溶かして鑄型に流し込む鑄造体験をしてみよう
- ◆レジンアクセサリ 4月27日(土)・5月6日(月)・6月22日(土)
各回時間 ①10時 ②11時 ③13時 ④14時 ⑤15時
材料費/400円 所要時間/60分
銅鐸や銅剣のカタチをしたアクセサリを作ってみよう
- ◆龍の絵を描こう 4月6日(土)・5月26日(日)
各回時間 ①13時30分
材料費/100円 所要時間/90分
2種類の龍の絵が筆ペンで簡単に描けるようになるよ
- ◆銅鐸デコレーション 毎週土・日
各回時間 ①10時 ②11時 ③13時 ④14時 ⑤15時
材料費/600円・800円 所要時間/60分
タイルを貼ってかわいいお部屋のインテリアを作ろう



ミニチュア鑄造体験



レジンアクセサリ



龍の絵を描こう



銅鐸デコレーション

TEL:0799-36-2314 E-mail:gyokuseikan@city.minamiawaji.hyogo.jp



アクセス

- ・バスをご利用の方
神姫バス三宮バスターミナルより
高速バス「三ノ宮・福良線」(約70分)「陸の港西淡」下車、
タクシーで約5分
または「陸の港西淡」より
市コミュニティバス「らん・らんバス」(約5分)「玉青館前」下車、
徒歩で約8分
- ・お車の方
神戸淡路鳴門自動車道「西淡・三原I.C」より約5分